

参院選の結果と国民の願い

― 国民は何を願って投票したのか ―

参議院議員選挙の結果

☆戦後二番目の低い投票率の中で自公連立政権は過半数の議席を獲得しました。一方、改憲勢力は3分の2に届きませんでした。

☆野党も得票を減らしていますが、与党の自民党は二百万票、公明党は百万票も票を減らしました。与党の勝利は小選挙区制によるものと言って良いでしょう。

安倍首相は結果をどう見て、何をしようとしているのか

☆安倍首相は、過半数の議席獲得で「国民の信を得られた」として、任期中の改憲に意欲を見せています。あと4議席で3分の2の改憲議席数になるのだからかなると思っ

国民は「改憲」を願って投票したのではない

☆選挙後、国民は何を願って投票したのかメディアの世論調査が行われました。

「年金・医療・介護48・5%、憲法改正6・9%」

〔共同通信〕

「年金など社会保障38%、憲法改正3%」

〔朝日新聞〕

☆これではつきりしたのは、憲法を改正してほしくて投票した人は3%くらいしかいないということです。にもかかわらず、安倍さんが憲法改正にこだわるのはどっちを向いているのかがよくわかります。

国民の願いは将来不安の解消と戦争をしない平和な国です

☆世論調査に現れているように、国民の願いは年金、介護、子育てなどの将来不安の解消が最優先です。憲法の改正などやっている暇はないし、その必要もありません。

☆野党の皆さんにも注文があります。国民の願いは皆さんの考えと殆ど一緒です。しかし何故、皆さんに票が集まらないのか。何故若者は選挙に行かないのか。どうか、真剣に考えてください。8・15の講演会に是非来て下さい。

二〇一九年八月十一日(日)護憲平和行進(通算630回目)

☆浜松市憲法を守る会 事務局 浜松市中区紺屋町三〇―一五
月例護憲平和行進 毎月第二日曜日・午後一時・浜松市役所正面玄関集合

浜松・平和の集いのお知らせ

日時・場所 8月15日(水)午後2時〜4時 浜松市地域情報センター
講演・「まちなか民主主義ってな〜に？」 ―若者にスルーされないために、

講師・菱山南帆子(許すな!憲法改悪市民連絡会事務局次長)
主催・浜松・憲法九条の会 ―この後、浜松駅北口までピースウォークします

〔焼き場に立つ少年〕



この写真は、アメリカの従軍記者ジョー・オダネルが1945年8月9日長崎に原爆が投下された数日後、長崎の焼き場で撮った写真である。
この少年は今、死んでしまった自分の弟を焼き場に背負ってきて、弟が荼毘に付される順番を直立不動で待っている。オダネルは、この少年の固く結んだ唇に血がにじんでいるのを見たとき、回想している。
ローマ法王フランシスコは「戦争が生み出したもの」という言葉を添えて、署名と共にこの写真を配布するよう指示した（2018年）。